

科目名	学校臨床心理学特論 [院]					単位	2.0
担当教員	目黒 達哉						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1, 2	授業番号	6002

●授業のテーマ

スクールカウンセラーとスクールカウンセリング

●到達目標

臨床心理士を取得後、スクールカウンセラーとして実践可能な理論、知識、技能、技術を身につけることができる。

●学習内容(授業概要)

臨床心理士の資格を取得し、スクールカウンセラーを目指している人にとっての必修の講義である。

今日の学校現場の現状と課題について解説したうえで、学校現場におけるスクールカウンセリングとは何か、スクールカウンセラーの役割について理解できる。また、学校現場でスクールカウンセラーが教師とどのように連携を図っていけばよいのか、その連携のあり方についても理解することができる。さらに、担当者のスクールカウンセラー経験時の事例を提示するので、その事例の課題点を理解できる。

尚、学校現場のスクールカウンセラーを特別講師として招き、講義を聴き、現状を知ることができる。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション、学校臨床心理学特論とは。
2. 学校とは
3. 教師とは
4. 学校現場における臨床心理学的諸問題
5. いじめ
6. 不登校
7. 発達障害
8. 保護者の現状
9. スクールカウンセラーの役割
10. スクールカウンセリングとは
11. 教師・保護者・スクールカウンセラーの連携
12. スクールカウンセリングの実践事例
13. スクールカウンセラーによる講義（小学校）
14. スクールカウンセラーによる講義（中学校）
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：次回の講義で実施要諦の内容について、文献研究を行う。

事後学習：講義の内容について、レポート用紙にまとめる。

●成績評価方法・基準

試験 80 点、レポート 20 点の基準で評価する。

●テキスト（必携）

特に使用しない。講義用資料を配布する。

●参考文献／その他

高畠克子 著：『臨床心理学を学ぶ⑤ コミュニティ・アプローチ』東京大学出版 会 2011 年.

目黒達哉 著：『臨床心理的地域援助研究—コミュニティ臨床心理士の専門性とボランティアとの協働・連携』学術図書出版社 2014 年.

●履修上の注意

グループ討議など学生参加型の講義を実施するので、学生の皆さんの積極的な参加を望む。